

思考力・判断力・表現力の育成 を目指したRetellingの実践

岐阜県立可児高等学校 堀江菜那

1

目次

1. テーマ設定の理由
2. 研究内容
3. 成果と課題
4. 実践を通しての感想・まとめ

2

1. テーマ設定の理由

課題 思考判断表現に対する困り感

- ・授業への取り入れ方
- ・考査の中での知識技能との区別が教員によって様々
- ・考査時、生徒の思考判断表現問題への反応がネガティブ

研究 授業の中で思考力判断力表現力を育てる
・継続的に授業の中に取り入れる

3

1. テーマ設定の理由

思考力判断力表現力とは

コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、**外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。**

「高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説外国語編英語編、外国語科の目標(p.14)」

大学入試共通テストでは

- ・記事の内容からプレゼンテーションのメモを作る。
- ・複数人の意見の共通点を答える。
- ・文章の詳細な内容を選ぶ。
- ・書きたい内容のための証拠や事実を文章とグラフから読み取り選ぶ。

等が出題される。

4

1. テーマ設定の理由

思考力、判断力、表現力を高めるためには、情報や意見の概要、要点、詳細、話し手や書き手の意図を正確に理解し、表現し、伝える活動を実際に行うことが必要。



リテリングの活動

自分の言葉で説明しようとする＝要点を把握し、必要な詳細を加えて表現する

思考力・判断力・表現力を育てる言語活動

5

2. 研究内容

- ・対象生徒：高校3年生
- ・リテリングタスク：副教材cutting edgeの本文
(内容理解の解説をできた段落までをリテリングさせる)
- ・評価指標：どれだけ元の情報が正確に伝わっているか。
表現の流暢さと自然さ(語彙、文法、構造の自然さ)
理解度(言い換えや要約力)
- ・事前テストと事後テスト：リテリングのための支援の前後を比較した。
- ・分析：量的分析は行わず、リテリング時に生徒が感じた難しさや意識した点などを調査した。学習者のリテリング内容を精査し、リテリングスキルの向上要因や、課題についての理解を深めた。

6

事前テスト

支援を行う前にリテリングをさせた。

本文内容：オーガニック製品が身近になってきたが、それは本当に人間や環境にとって良いものであるのかどうかを問題提起する文の導入部分。

解答例

In recent year, Organic product become a symbol of quality and tradition. We can see them anywhere. But is it really worth to pay a lot of money? One says it has good taste and good for our health but the other says...

Nowadays, there are a lot of organic products such as cereals, ice cream and so on. Organic means it doesn't contain no artificial additives, so it is believed good for our health.

・本文に出てきた順に書くことで、段落の要旨があいまいに。
・詳細情報を入れすぎてしまう。

7

事後テストまでの支援

- (Ⅰ)内容理解
- (Ⅱ)音読による内在化
- (Ⅲ)発話の準備
- (Ⅳ)事後テスト

8

(Ⅰ)内容理解

- ・本文に関するquestionを与える。
- ・「概要・要点」に関するquestionと「詳細情報」に関する問題を大問2つに分けて出題。
- 本文を黙読で複数回読ませること、本文内容の大枠から問うことによるスムーズな理解をねらった。
- ・語彙指導・文法指導も同時に行う。

9

(Ⅱ)音読による内在化

音声と文字を結び付けるための音読ではなく、語彙や文法規則を**内在化させるための音読**を行う。

リテリングがあることを必ず**事前に伝えておく**。
音読前に必ず強調し、使いたい語彙や文法に注目させるようにする。

10

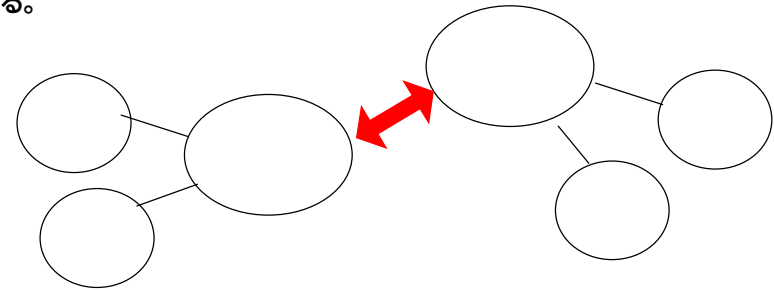
(Ⅲ)発話の準備

- ・「自分の言葉で説明できた箇所があった」「本文中の文法や語彙を使うことができた」などを振り返り項目に入れ、それらを**リテリング前に確認**させた。
- ・時間をとり、伝えたい内容を準備させた。

11

(Ⅲ)発話の準備

- ・発話の準備をする際、下のような図を書く生徒が複数人いた。内容の因果関係を可視化して把握するうえで有効ではないかと考える。



12

(IV)事後テスト

- ・今回は記録の残しやすさから筆記を選んだ。
 - ・後日、生徒の成果物からよい例を紹介した。
 - ・パラフレーズがうまくいっているものは空欄補充問題にした。
- 一受験期の生徒であったため、興味を持って取り組んだ。
- ・メモを取ったり、自分の解答に付け加えている生徒が多くみられた。

13

(IV)事後テスト

Organic products become more popular these days. We can see them anywhere, but is it really worth to pay much money? It is really good for our health and environment. One person say it has good taste and good for our health but the other says there are no difference. The risk is really exist?

Now, we can find a lot of organic products in many places. Supporters of them advocate they are good for our health, and non-organic products cause cancer, but critics say it is too exaggerated. Which is true?

14

3. 成果と課題

成果

- ・生徒自身が概要や要点を意識し、内容を理解しようとする事ができた。
 - ・アウトプットに目標があることで、インプットやインテイクにも目的が生まれ、知識技能の定着も図ることができた。
 - ・コモンエラーの指導ができた。
- 一同じ文章を使用しており、自由英作文などよりも指導しやすい。似た間違いをすることが多く、響きやすい。
- 一意見論述の活動までに一度、指導しておくことで生徒の文法や語彙に関するハードルを下げたい。

15

3. 成果と課題

課題

- ・全文日本語訳をする時間は取れない。
- 一単元内でどのように内容理解させるか、身に着けさせたい文法事項は何かなど、優先順位をつける必要がある。
- ・生徒のモチベーションを保つ仕組みづくり
- 一話すこと・書くことについて、生徒はハードルを感じやすい。
- 一目的と目標をもって取り組むための振り返りのシステムを作る。
- 一継続的に行うことが生徒のハードルを下げる。
- ・パラフレーズできるようになる方法を仕組めるようになりたい。

16

4. 実践を通しての感想・まとめ

- ・受験期であったが、生徒は関心をもって授業に取り組むことができた。
- 生徒の中でも共通テストで出題される、要点をとらえる問題に対する苦手意識があり、苦手克服のためという動機づけができた。
- ・思ったよりフィードバックを手軽にできる。
- 同じ文章を読んでまとめているので、良い例を参考にしやすい。
- 使う文法も同じことが多いので自分ごととしてとらえやすい。
- ⇒全員分毎回添削を入れなくても効果がある。(継続可能)
- ・一文ずつに触れることを目標とせず、リテリングを目標とすることで「使うため」の語彙や文法を身に着けることにつながる。

17

まとめ

- 研究
- ・授業の中で思考力判断力表現力を育てる
 - ・継続的に授業の中に取り入れる



- ・リテリングを行うことで要点を把握し、必要な詳細を加えて伝え、思考、判断、表現する練習ができる。
- ・リテリングを目標にすることで、思考、判断、表現するために、語彙や文法にも意識を向けさせることができる。知識技能を付けたうえで「+αの言語活動」ではなく、そもそもリテリングを目標にすることで、継続的に授業に取り入れられる。

18

使用教材

副教材

Cutting Edge Blue 大学入試長文読解問題集 (エミル出版)

参考資料

佐々木啓成.2020.「リテリングを活用した英語指導—理解した内容を自分の言葉で発信する」.大修館書店.

19